



第 33 号

令和5年10月1日発行

## 富山県立魚津工業高等学校

事務局 〒937-0001 魚津市浜経田3338  
魚津工業高等学校内  
TEL 0765(22)2577 FAX 0765(22)2578  
URL <https://www.uozu-th.tym.ed.jp>  
Eメール uozukogyo@ed.pref.toyama.jp



さらなる発展に向けて

同窓會長

島津

豐

新型コロナウイルス感染症の扱いが第5類感染症になり、ようやく普段の社会生活が戻ってきました。こ

義でした。身近に日本のものづくり技術を代表する会社があるということを実感したことと思います。

のように社会活動が少しずつですが、元気になつてきている中、同窓会会員の皆さま、教職員関係者の皆さま、ますますご健勝のこととお喜び申上げます。また、昨年執り行われました創校60周年記念式典、そして関係する事業にたくさんの方々から多大なるご理解、ご寄付、ご協力を頂き感謝申し上げます。おかげさまで富山県副知事様をはじめとした多数

の御来賓をお迎えし、立派で盛大な式典となりました。また、(株)スギノマシン代表取締役、杉野良暁氏によるものづくりに対するご講演は、特に本校生徒諸君にとって最高の講

さて最近では、コロナ感染症は落ち着きを見せていましたが、世界各地で自然災害が起っています。地球温暖化はもう終わり、地球沸騰化の時代になつていると国連事務総長のグテーレス氏が述べておられます。「世界の研究者は一致して、人間の化石燃料使用からの排出が、現在の温暖化の原因であると確信しています。」と…。

ト、都市ガス、LPG、火力発電などの化石エネルギー、そしてこれからも求められる、太陽電池、水力発電、風力発電、等再生可能なエネルギーなどすべてにおいてものづくりです。

現在の本校はここ10年かけて、実



同窓会長挨拶

習棟が全面改築になり、デジタル化対応設備を含め各学科に最新式の実習用設備、装置が導入されてきました。「脱炭素化」など新しい現代の新エネルギー技術に即対応できる生徒たちをこれからも同窓会として見守つて応援していきましょう。

結びに、母校のさらなる発展とともに同窓会会員の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げてご挨拶とし





## より良い人生を目指すための取り組み －UDGs－

(Uozu-tech-high-school DEVELOPMENT GOALS)

魚津工業高校では、目まぐるしく変化していく社会で、唯一無二の答えのない時代を生きていく魚津工業生に向けて、魚津工業高校で人生を変えるための17の目標であるUDGsを作成し、授業や特別活動で取り組みを行っています。

UDGsとは予測困難な時代を生きるために『何を学ぶか』を明確にし、魚津工業高校のグランドデザインに合わせて、教科横断的な資質・能力や社会情動的スキルなど無数にある力やスキルを重点化したものです。

UDGsをきっかけに、各科の学習内容だけでなく、『考え、判断すること』や『主体的に取り組むこと』を組み合わせ、将来やりたいことが実現できるよう、深い学びを魚津工業高校で行ってもらいたいと考えています。

本年度は各授業で、意識するUDGsのパネルを生徒に明示し、そのテーマのもとに授業内容を学習することで、教科横断的な学びを行い、UDGsを通して高めた自分の力を活用し、SDGsに代表される社会課題に対して積極的に挑戦できる人材を育成育成することに取り組んでいます。

# UDGs



Uozu-tech-high-school  
DEVELOPMENT GOALS

### 人生を変えるための 17 の目標

|                |                   |                   |                     |                     |                  |
|----------------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1<br>本物に触れよう   | 2<br>地域社会と自分をつなごう | 3<br>正しいものづくりをしよう | 4<br>本気になろう         | 5<br>自分から行おう        | 6<br>自信を持とう      |
| 7<br>信じてやり続けよう | 8<br>志を立てよう       | 9<br>自分の内側を知ろう    | 10<br>長い視点でも考え方をしよう | 11<br>多様な見方・考え方をしよう | 12<br>自分の想いを伝えよう |
| 13<br>想いに寄り添おう | 14<br>チームで協働しよう   | 15<br>疑問を持つ       | 16<br>創造しよう         | 17<br>工夫しよう         |                  |



## 県高校総体スキー競技 優勝

(情報環境科2年 浦 海斗君)

令和5年1月10～12日に南砺市平スキー場で実施された県高校総体スキー競技会アルペン競技において、本校情報環境科の浦海斗君が、1年生(当時)ながら男子回転、大回転の2種目に登場し、いずれも見事優勝しました。

浦君は小学生の頃から土日には長野に通い、スキーの練習に打ち込む日々を過ごし、中学3年の時には県中学校選手権で優勝を経験しています。

### 県高校総体を優勝

勝して全国の切符を掴んだ浦君は、その後に開催されたインターハイ



(2月7～11日、

山形県最上町赤倉温泉スキー場)や国民体育大会(2月17～20日、岩手県八幡平市安比高原スキー場)、全国高校選抜大会(3月7～10日、長野県山ノ内町志賀高原スキー場)にも出場しています。

本校には現在、スキー部がありません。

このため、シーズン中はご家族のサポートのもと、個人での練習を行っています。

その一方、入学当初からラグビー部に所属し、雪のない時期を利用して、体幹や筋力の強化を行っています。夏季休業中には、他の部員と共に合宿や遠征に参加し、また、公式戦にはフォワードとして出場するなど、毎日が充実した日々を過ごしています。時間もなく高校生活2年目のシーズンを迎えるますが、引き続き、浦君の活躍にご期待いただきますよう宜しくお願いします。

## 第28回 コカ・コーラ環境教育賞 「企画・研究推進部門」優秀賞

環境教育推進委員会

情報環境科、環境科学部のプラスチックに関する研究と生徒会による

海岸清掃活動を連携させた取組みが、第28回コカ・コーラ環境教育賞「企画・研究推進部門」優秀賞に選ばれました。コカ・コーラ環境教育賞は、地域に根ざした環境教育・環境保全活動を促進することを目的に、コカ・コーラ環境教育財団が1994年に設立した公募型の賞です。最終選考会は、オンラインで開催され、情報環境科

と環境科学部の生徒が発表しました。本校は、国の事業である「スマート専門高校の実現」に向けて最新の分析機器が設置されています。これらの装置を活用して、身近な地域でのプラスチックゴミの現状を知り、ごみとして捨てるのではなく、回収

クリする技術を可能にするための研究を進めました。以下、受賞内容の一部を紹介します。

生徒会は、夏季休業中に経田海岸付近のごみ清掃活動を行っています。これまで、回収することが中心の活動でした。本研究では、回収したごみのうち、プラスチックを取り出して、情報環境科や環境科学部の生徒がプラスチックの成分分析をしたり、プラスチックごみを凝集剤として利活用して汚れた水をきれいにしたりする研究を行いました。成分分析では、赤外分光光度計を用いて

プラスチックの種類を調べました。また、世界的に規制されているプラスチックを柔らかくする可塑剤の有無についてガスクロマトグラフ質量分析装置を使って分析しました。一部のプラスチックから、規制対象物質のタル酸エチルを検出する結果が得られました。参加した生徒は、結果を目にすることで、清掃活動が社会の役に立っていることを実感したと感想を寄せました。

今後は、「地域の環境をよりよくしたい」という生徒の思いを一つにして、個々に実施してきた活動を校内で連携した活動に展開していくこと考えています。このことにより、生徒が考えたアイディアを形にし、調査研究活動の成果を広く発表して、生徒が主体的に活動できる機会をより多く設けるようにしたいです。



## 令和4年度 同窓会総会

令和4年度魚津工業高校同窓会総会が10月29日(土)午後6時よりスライホテル魚津にて開催されました。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、規模を縮小して行つておりました。総会や中止しておりました懇親会を、感染予防対策を徹底したうえで3年ぶりに通常通り行なうことが出来ました。

まず始めに、島津会長(第15回電気科卒)が開会の挨拶を行い、続いて井川校長が挨拶をされました。永年勤続教職員表彰では10年勤続の越隆典先生に感謝状および記念品が贈呈されました。

続いて議題に入り、令和3年度の会務並びに事業報告、同窓会一般会計・事業会計・魚工展積立会計・全国大会特別会計・部活動助成費特別会計の決算並びに監査報告がされました。また、令和4年度の事業並びに会務計画(案)、令和4年度同窓会一般会計予算(案)等が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

総会終了後、石崎理事(第28回化学工業科卒)の司会進行にて懇親会が催されました。



令和4年度 同窓会総会風景



るい雰囲気の中でお互いの近況報告や情報交換そして高校時代の思い出話に花が咲きました。

最後に校歌を参加者一同で斉唱し、閉会の挨拶で盛況の内に懇親会を終えました。

## 生徒の進路希望と求人状況

### 【就職】

この春の新聞社の来春採用状況調査で、本年度春の実績より採用人数を増やすと回答した企業は昨年度調査と比べて2.2%増の63.1%との報道がありまし

た。新型コロナウイルス禍からの業績回復による採用意欲の高まりが鮮明となつてきています。また、現状の人員に「不足感がある」と回答した企業が66.2%となつており、人員確保のため初任給を引き上げるとした企業も39.5%に上っています。多くの業種で、人材確保を急ぐ動きが出ています。このことから本年度の本校への求人は、令和4年度に比べ1~2割程度増加すると予想されました。

7月から求人票受付が始まり、8月中旬まで、本校へ求人依頼のあつた県内企業数は、393社、求人件数は679名であります。これに対して就職希望者は全体の70.4%にあたる88名であり、有効求人倍率は7.72倍です。

就職希望者は8月の下旬には、ほぼ応募先を決定することになります。

近年は、企業は意欲のある優秀な人材を求めており、選考試験の競争もさらに激しさを増しています。

生徒達は危機感をもち、夏休み中も履歴書の作成や作文・面接練習に励み、試験に備えています。

【進学】今年の進学希望者は29.6%で、昨年度に比べて2名減です。4年制大学

希望者が4名増加し、短大と職業能力開発大学校で6名の減少となりました。

進学希望の生徒たちには、何のためにその学校に進学するのかを明確にした上で勉学に励むように指導しております。

生徒たちが志望校に合格し、それぞれが思い描いた学校生活を送ることを願つています。



6月17日 企業説明会  
本校第一体育館

|                             |
|-----------------------------|
| ○求人企業数・求人件数                 |
| 県内 393社(369社) 679名(629名)    |
| 県外 390社(286社) 720名(546名)    |
| ○就職希望者                      |
| 88名 全体比70.4%(105名 全体比72.4%) |
| 県内 84名(103名)                |
| 県外 4名( 2名)                  |
| ○進学希望者                      |
| 37名 全体比29.6%(39名 全体比26.9%)  |
| 大学 13名( 9名) 短大 1名( 3名)      |
| 能開大 6名(10名) 公共職訓 0名( 0名)    |
| 専門 17名(17名) 未定 0名( 0名)      |

\*データは8月9日現在、( )は昨年実績  
今年度卒業予定者数 125名(昨年度卒業生徒数 144名)

# ジャパンマイコンカーラリー 2023全国大会

電気工学部

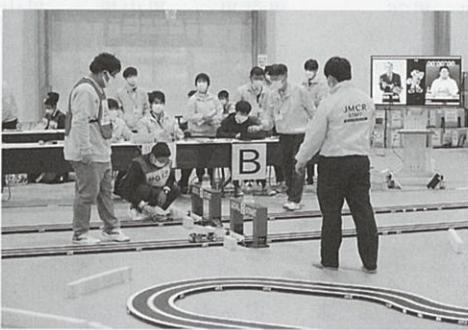
マイコンカーとは、ラインを読みとるセンサやモータ制御用のマイコンを搭載した自動運転車です。コース上のラインをセンサで読み取り、その情報を元にマイコンがモータを制御してコース1周のタイムを競います。速く走るためにには、それを制御するためのプログラミング技術が求められます。

競技はモータとマイコンを除いた部品の改造が認められている上級者向けのアドバンスドクラス、使用できる部品が制限されていて、初めてマイコンカーを製作する場合でも無理なく取り組むことができるベーシッククラス、カメラでコースを写し画像として取り込み必要な情報に変換してからコース形状を認識させることで車体を制御するカメラクラスの3つのクラスに分かれています。競技のコースは全長約50mで、直角に曲がるクランクや、コースが切り替わるレーンチェンジ、S字コースや坂道などいろいろなバリエーションがあります。

電気工学部は、昨年行われた北信越大会のベーシッククラスで、3年ぶりに全国大会の出場権を獲得しました。全国大会は1月7日～8日に大阪電気通信大学寝屋川キャンパスで行われました。コロナウイルスの関係で2年ぶりの全国大会開催となりました。全国大会のコースは地区大会に比べ、コースの距離が長くなり難易度もかなり難しくなっていました。

大会の結果は、予選の1回目、2回目共にコースアウトで悔しい結果となってしまいました。地区大会に比べどの車体もレベルが高く、予選を通過するためにはギリギリの条件に設定して望む必要がありコースアウトになってしましました。

今年は北信越大会、全国大会が共に長野県で開催されます。今年も全国大会に出場し、決勝トーナメント進出を目指して頑張りたいと思っています。



## スマホ1つでオート農業 ～スマート水耕栽培～

第36回工業技術論文発表大会が2023年1月20日(金)に富山市民プラザで開催されました。

私たちは物価の高騰や働き方にに関する問題、食糧問題などに着目し、野菜を自分たちで栽培することで食糧問題を解決しようという結論に至り、活動を開始しました。

調査・研究を進めていくと、日本の農業従事者数は年々減少しており、更に高齢化も進んでいることが分かりました。また、野菜の食べごろについてはAIの技術を活用して解決できないかと考えました。

野菜の栽培には、クリーンで汚れないというイメージから水耕栽培の手法を採用しました。各種センサやカメラ映像などを活用し、肥料の自動補給や水の循環再利用などを行い、自動化した農業の実現に取り組みました。また、TensorFlowというAIの枠組みを活用した野菜の食べごろ判定を行い、スマートフォンのカメラで野菜を写すだけでベストな収穫タイミングが示せるよう取り組みました。

ミラコンでは未来賞をいただきました。引き続き研究に取り組み、農業と工業を合わせた未来につながる研究に取り組んでいきたいと思います。



